

2026年4月9日

従業員参加型「生成 AI プロンプトコンテスト」の開催結果について

めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行（頭取 秋野 哲也）と足利銀行（頭取 清水 和幸）は、このたび、グループ全体の業務効率化および従業員のデジタルスキル向上を目的として、両行の従業員を対象とした「生成 AI プロンプトコンテスト」を共同で開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本コンテストは、デジタル技術やデータの活用を全社的に推進することで、業務効率化を加速させるとともに、部門の垣根を越えた業務改善アイデアの創出を目的として実施いたしました。

めぶきフィナンシャルグループは、今後も生成 AI をはじめとするデジタル技術の活用を通じて、従業員一人一人の自発的な DX への取り組みを推進し、経営効率の向上と地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

記

1. プロンプトコンテストの概要

募集内容	業務で活用可能な「プロンプト」とその「想定利用シーン」
対象者	常陽銀行・足利銀行の全従業員（営業店・本部など）
開催目的	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体での生成 AI 活用推進と業務効率化の加速 デジタルリテラシー／AI 活用スキルの底上げ 部門を超えた業務改善アイデアの創出
開催期間	2026年2月～3月
応募数	182件（80人）
審査方法 結果発表	<p>【1次審査】審査用プロンプトを用いた自動評価（別紙参照）</p> <p>【2次審査】両行のDX担当部署が、実用性・創造性などの観点で評価</p> <p>2次審査結果については、経営層による承認を経て表彰対象を決定し、3月に発表</p>

2. 今後の展開について

本コンテストで表彰されたプロンプトについては、全従業員が利用しやすい「プロンプトテンプレート」としての活用を検討しています。また、今回の取り組みを通じて、業務改善のさらなる可能性や特定業務向け AI ツールの開発可能性を探り、グループ全体の AI 活用の高度化につなげてまいります。

<主なアイデア>

資料作成の高速化	難解なタームシートの要約とスキーム図の作成
ナレッジマネジメント	ベテランの経験則やノウハウを言語化して共有するプロンプト
防犯・リスク管理の高度化	窓口での特殊詐欺を防ぐための実践的な対話シミュレーション
法人営業 AI サポート	企業情報を整理し、面談で確認すべき点を提示するプロンプト
取引先との面談トーク例の作成	企業の事業内容や課題を相談する面談の質問・会話を提示するプロンプト

以上

(参考) 1次審査で利用した「審査用プロンプト」

〈例〉

審査対象プロンプト：難解な金融用語の「中学生向け」解説

審査項目：明確性、実用性、創造性（各5点/15点満点）

改善提案：最低3つの課題を出力

【出カイメージ】

【エントリー名：難解な金融用語の「中学生向け」解説】

プロンプト本文：

以下の金融・銀行用語を、銀行業務を全く知らない中学生でも理解できるように、身近な例えを使って分かりやすく解説してください。

用語：[シンジケートローン]

審査対象プロンプト

項目	点数	講評（技術的視点を交えて具体的に）
明確性	4/5	「対象読者＝銀行業務を知らない中学生」「身近な例えを使う」という点がはっきりしており、文体・難易度のターゲティングは比較的明確。用語も変数として扱える構造（用語：[○○]）になっており拡張性はある。ただし、「文字数の目安」「専門用語の使用可否」「段階構成（結論→例え→補足）」が指定されていないため、モデルごとの出力スタイルのブレが残る。
実用性	4/5	OJTや自己学習というユースケースは明確で、用語を差し替えてもそのまま使える点で汎用性は高い。難易度設定も「中学生」と具体的で、社内の教育コンテンツとして安定した品質を出しやすい。一方で、「どこまで簡略化してよいか」「本質的なポイントは何か」が定義されていないため、簡略化しすぎて実務上のニュアンスが失われる可能性がある。
創造性	3/5	「中学生向け+身近な例え」というのはよくある教育用プロンプトで、特段高度な技術（論点分解、誤解しやすい点の事前列挙など）は使われていない。ただし、用語を変数として受け取る構造を前提としている点は、業務ツール化を意識した設計と評価できる。
合計	11/15	-

審査項目

プロの視点からの改善提案

● 課題の指摘

- 「身近な例え」を1パターンに任せているため、例えが刺さらない場合に再問い合わせが必要になる。
- 定義・特徴・具体例・注意点といった説明の構造が決められておらず、説明の粒度が講師やモデルに依存してしまう。
- 専門用語をどの程度排除するべきかの基準がないため、モデルによっては「参加行」や「アレンジャー」など未説明の専門用語が紛れ込むリスクがある。